

1 カリキュラム作成のためのコンセプト

教科の本質

現在の小・中学校における社会科の課題

〈指導内容・方法・評価等の課題〉

〈実態からの課題〉

- 社会科成立の原点＝社会認識の形成を通して市民的資質を身に付けさせる教科（昭和22年/26年版）
- 社会科の原理＝アカデミックな分科ではなく、教育の立場から児童生徒の成長を考えて設けられたもの（勝田守一）
- 社会科で育てる子ども＝科学的事実判断ができ、合理的意思決定ができる子ども（岩田一彦）

- 小学校では、形式的な問題解決学習になりやすい（「①体験・活動重視で、基礎的な知識・技能が身に付きにくい」、「②5・6年生の学習は系統的な学習ととらえられ、4年生との段差が大きい」等）
- 中学校では、知識偏重、方法軽視の学習になりやすい、「①生徒の実態の反映や考える授業が不十分」、「②問題解決的な学習の考え方が弱い」、「③3分野が独立し、総合的な「社会科」の性格が曖昧」等

- 小学校中学年で必要な地図等の指導が不十分で、高学年から暗記教科のイメージが強くなる。
- 中学生も社会科学習の意義を理解していない。授業内容と社会の現実の問題が乖離している。
- 「小学校3～6年生」（4年間）と「中学校1～3年生」（3年間）の間に、重複が多くまた断層もある。
- 時事問題を十分扱い切れない。

課題を克服するための基本的な考え方

- ◇「小学校3～6年生」と「中学校1～3年生」との断層や重複の部分を「小学校3年生～中学校3年生」（7年間）の発想で再考する必要がある。多様な学習活動による問題解決過程を通して認識形成と資質・能力育成の両面を一体的に達成する授業を工夫する。
- ◇日々の授業と社会の現実問題をつなげて考えられるように、系統学習と生活・経験学習の調和、現実社会に対応できる学習を重視する必要がある。そのため、「①身近な素材を通じた学習（問題解決的な学習を通して）」、「②社会科学の成果（知識・概念）を学習（系統学習や資料活用の学習を通して）」、「③現実問題としての今日の社会問題（環境、人権、国際化、情報化、高齢化等にかかわる諸問題）に対応した学習（問題解決的な学習、ディベート、シミュレーション学習等の多様な学習活動を通して）」の3種の学習の関係を考慮する。
- ◇これからの時代を主体的に生きるための社会科学習とするため、3分野を単に従来の地理・歴史・公民と呼称するのではなく、地理を「私たちと生活環境、歴史を「私たちと歴史の発展、公民を「私たちと現代の社会」とする。

小中一貫教育のコンセプトから考える市民科のねらいと育てたい力

- ◇7年間を通して、理解・能力・態度の統一的な育成をねらいとして、「①社会生活について基礎的・基本的な知識を理解する学習」、「②社会的事象をより良く考え判断する学習」、「③望ましい態度を形成する学習（ア 学習意欲・態度を育成する学習、イ 社会的態度・行動を育成する学習）」の三つの学習を重視する。特に、選択社会に相当するステップアップ学習Ⅱ・Ⅲにおいては、②や③イの学習を重視して行う。

〔3年生・4年生〕

「①社会生活についての基礎的・基本的な知識を理解する学習」を重視して基礎・基本の定着をめざし、地域社会の学習（地域社会において主体的に生きていくことをめざす学習）を行う。併せて、「③望ましい態度を形成する学習（特にア学習意欲・態度を育成する学習）」を重視する。

〔5年生～7年生〕

「②社会的事象を判断する」ことを重視して教科担任制によるより専門性の高い社会科指導を展開し、基礎・基本の定着と個性・能力を伸ばす。併せて、「③望ましい態度を形成する学習（アとイの両方）」を重視する。

〔8年生・9年生〕

「②社会的事象を判断する」ことを重視して教科担任制によるより専門性の高い社会科指導を展開し、高等学校の内容を含めて取り上げながら個性・能力を最大限に伸ばす。併せて、「③望ましい態度を形成する学習（特にイ社会的態度・行動を育成する学習）」を重視する。

〈発達のみとまりによる主な指導内容・指導形態〉

3年生・4年生		5年生～7年生			8年生・9年生		
○生活科を発展させ、社会科への興味・関心を喚起する。 ○地域学習を通してのうちに人の営みを感じ取り、地域社会の一員としての自覚とその発展を願う態度を育てる。 ○地理学習を私たちと生活環境、歴史学習を私たちと歴史の発展、公民学習を私たちと現代の社会と呼称する。 ○「観察・調査・資料活用・表現」、「社会への働きかけ」等の学習方法について育成する。		○活動を中心とした学習と講義・問答型の学習の配分を考慮し、3・4年生と段差をつくらない。 ○5年生以上も地域に学ぶ学習を継続する。特に、地域の歴史に関して、我が国の歴史の流れに結び付く人物や内容、人々の生活に根ざした文化、フィールドワーク・博物館や地域人材の活用、作業や体験活動等を工夫し、通史学習へ円滑に発展させる。 ○教科担任制、基礎・基本の定着と個性・能力を伸ばす習熟度別学習開始。 ○選択社会に相当するステップアップ学習開始。			○社会的事象に対する個々の思考・判断を適切に働かせて、社会的な意味、よりよい社会の在り方や人間の生き方等について深い追究や考察を行う。 ○生徒の実態に応じ、高等学校レベルの内容も取り上げ、政治・経済・社会の理論的な学習を行う。 ○意見発表や討論（ディベート）を重視し、また、単なる見学に終わらない文化施設の利用によって社会への働きかけを行う活動を重視する。 ○内容や方法に選択的要素を増やし、卒論作成の形態を導入する。		
3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生	学年1単位45分
70	85	90	100	117	117	95	現学習指導要領
70	85	90	100	120	120	100	小中一貫教育

〈主な重点的内容／○追加内容〉※1と※2は「私たちと生活環境」としてのねらいでなくなったことに配慮する

◇「私たちと生活環境」 ・学校周辺、区や都の様子 ・商店や工場働く人々の工夫 ◇「私たちと歴史の発展」 ・地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心 ◇「私たちと現代の社会」 ・私たちの健康な生活や安全な生活を支える仕組み（※1） ○学習方法で、社会的事象に関連付けた観察、具体的資料や地図等の活用、調べたことの表現、図書室の利用や電話の利用、地域活動への参加等を考慮する。	◇「私たちと生活環境」 ・我が国の食料・工業生産、通信、自然 ・地域構成の基本的枠組み ・地域の規模に応じた調査 ◇「私たちと我が国の歴史の発展」 ・歴史を語るものと歴史の大まかな流れ ・歴史上の出来事と人物・文化遺産 ・古代～近世日本（通史学習） ◇「私たちと現代の社会」 ・私たちと情報（※2） ・我が国の民主政治と日本国憲法 ○学習方法で、社会的事象の意味の考察や変化に着目した観察、地図・年表等の基礎的資料の活用、調べたことの伝達や効果的に表す表現等を考慮する。	◇「私たちと生活環境」 ・世界から見た日本 ◇「私たちと歴史の発展」 ・近現代の日本と世界 ・歴史学習全体の自分なりのまとめ ◇「私たちと現代の社会」 ・私たちと現代社会とのかかわり ・私たちと経済とのかかわり ・今日の我が国の政治の課題 ・世界の中の日本人として ○学習方法で年表による表現、大縮尺地図の読み取り、意見発表・討議、調査結果を報告書にまとめる、家庭・地域社会との連携を考慮する。 ○卒論制作 課題テーマと自由テーマ
---	--	--

〈生活科、新設市民科、新設ステップアップ学習との関連〉

○社会科との接続を考慮した生活科 ・目標レベルでは、できるだけ具体的な活動や体験を積む。 ・内容レベルでは、社会とのかかわりの深い内容を自分とのかかわりを通して学習する。 ・方法レベルでは、見る・聞く・調べる・表現するという多様な活動や体験を行う。	○社会科と総合的な学習の時間の相乗効果 ・学習方法に関する系統的指導を社会科が担い総合学習で実践する場を考慮する。 ※市民科の趣旨「これからの社会を形成する主体者としての自立的な行為の基礎を養うとともに、豊かな社会性を身に付けるため、実践的な態度の育成と人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う」を考慮する。	○ステップアップ学習との関連 ・選択社会に相当するステップアップ学習において、段階的な指導を徹底する。ステップアップ学習Ⅱ・Ⅲでは、問題解決的な学習を徹底して行うことにより、より社会的態度・行動を育成する。その際、高校レベルの内容にも配慮する。
---	--	---

2 カリキュラム編成のための目標の設定と発達段階系列表

教科目標		
広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、社会生活に対する理解を図るとともに、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、21世紀の社会を生きる民主的、平和的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。		
各領域目標		
私たちの生活環境	私たちの歴史と発展	私たちと現代社会
① 地域の産業や消費生活の様子、人々の健康な生活や安全を守るための諸活動について理解できるようにし、地域社会の一員として自覚をもつようにする。 ② 我が国の国土の様子について理解できるようにし、環境の保全の重要性について感心を深めるようにするとともに、国土に対する愛情を育てるようにする。 ③ 日本や世界の地理的事象に対する関心を深め、広い視野に立って我が国の国土の地域的特色や我が国と関係の深い国の生活、国際社会における我が国の役割を考察し理解させ、地理的な見方や考え方の基礎を培い、我が国の国土に対する認識を養うとともに、世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。 ④ 日本や世界の地域の諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえ、それを地域の規模に応じて環境条件や人間の営みなどと関連付けて考察し、地域的特色をとらえるための視点や方法を身に付けさせる。 ⑤ 地域調査など具体的な活動を通して地理的事象に対する関心を高め、地図や統計などの様々な資料を適切に選択、活用して地理的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力や態度を育てる。	① 地域の歴史的事象や文化遺産について理解できるようにし、地域の歴史に関心をもつようにする。 ② 歴史的事象に対する関心を高め、我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色を世界の歴史を背景に理解させ、それを通して我が国の文化と伝統の特色を広い視野に立って考えさせるとともに、我が国の歴史に対する愛情を深め、国民としての自覚を育てる。 ③ 国家・社会および文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を、その時代や地域との関連において理解させ、尊重する態度を育てる。 ④ 歴史に見られる国際関係や文化交流のあらましを理解させ、我が国と諸外国の歴史や文化が相互に深くかかわっていることを考えさせるとともに、多民族の文化、生活などに関心をもたせ、国際協調の精神を養う。 ⑤ 身近な地域の歴史や具体的な事象の学習を通して歴史に対する興味や関心を高め、様々な資料を活用して歴史的事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。	① 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方を理解できるようにし、平和を願う日本人としての民主政治の大切さを自覚できるようにする。 ② 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務の関係を広い視野から正しく認識させ、民主主義に関する理解を深めるとともに、国民主権を担う公民として必要な基礎的教養を培う。 ③ 民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動とのかかわりおよび現代の社会生活などについて、個人と社会とのかかわりを中心に理解を深めるとともに、社会の諸問題に着目させ、自ら考えようとする態度を育てる。 ④ 国際的な相互依存関係の深まりの中で、世界平和の実現と人類の福祉の増大のために、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことが重要であることを認識させるとともに、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることが大切であることを自覚させる。 ⑤ 空間的な広がり、時系列の中での、広い視野から社会的事象を総合的にとらえ、望ましい国、社会と自分の在り方について、自分なりに考え意見を表明する能力を育てる。

	学習能力の発達 (問題解決の発展) [→その特徴を活かした学習]	社会意識の発達 (社会的なものの見方や考え方の育成)	目標とする社会的な人間像	基礎的知識の発展		学習活動の発展		
				私たちと生活環境	私たちと歴史の発展	調べ方 (観察調査資料活用)	まとめ方 (表現)	かわり方(社会への働きかけ)
3年生	○情緒的、行動的傾向はなお著しい。興味で動き、行動で学ぶ。[→直接に見たり、聞いたり、体験したりさせて、身近な社会の仕組みへの関心を高め学習を深める] ○自己中心的な傾向が残る。[→単純な関係はわかるため、学習を振り返らせることで、初歩的な反省的理解を求める] ○事象の一つ一つの意味をとらえられるようになる。[→折々に社会的な事象を例にして見方や考え方の具体例を示す] ○社会生活の基本的な関係をつかむことができるようになる。[→身近な社会的な事象に目を向けさせ、分類したりまとめたりすることで、自分たちを取り巻く社会についての理解を図り、問題を見つける視点を養う]	○友だちと集団をつくって行動するようになる。 ○自己の意識が現れてきて、家庭や友だちなどの仲間の中で一人前として認められようとする。 ○社会生活に興味をもち始めようになり、社会生活における善悪の判断もついてくるが、ともすると興味に流されることがある。 ○社会生活の基本的な関係を全体としてとらえ始める。	地域的公民性 地域社会の構成員として、地域社会を良くしていく人間	○私たちの住んでいる身近な地域にはどのような特色があるのだろうか。 ○地域の生産や販売の仕事に携わる人々は、どのような願いをもち、工夫や努力をしているのだろうか。 ○地域の人々の生産や販売の仕事は、国内の他の地域とどのようなかわりがあるのだろうか。 ○東京都の地形や産業、人々の生活にはどのような特色があるのだろうか。 ○東京都に住んでいる人々の生活や産業は、国内の他の地域や外国とどうかかわっているのだろうか。	○私たちの生活はどのように変わってきたのだろうか。	○疑問をもつ習慣をつくる ○情報を収集し分析する技能＝調べ方を知る＝具体的資料を使う ・見る ・聞く ・文献調べ(読み取る) ・体験する ・インタビュー(話を聞く) ・図書室・図書館の利用 ・手紙での問い合わせ ・インターネットの活用 ○現地調査(フィールドワーク)	○情報を整理し表現する技能 ○発表会の仕方を知る ・絵地図 ・パンフレット ・新聞 ・壁新聞 ・ポスター ・絵年表 ・年表 ・手紙 ・紙芝居 ・映像(写真、TP、ビデオ等) ・イラストマップ ・ポスターセッション ・コンピュータ造型(ものづくり) ・寸劇 ○話し合い	○あいさつの仕方 ○電話のかけ方 ○インタビューの仕方 ○依頼状や礼状の書き方 ○清掃活動、リサイクル活動、分別処理活動 ○防災・交通安全PR活動 ○お年寄りとのふれあい交流 ○地域の伝統行事への参加、奉仕活動 ○外国の方との交流
4年生								

私たちと現代の社会

- 私たちのくらしの安全はどのようにして守られているのだろうか。
- 私たちが健康にくらせるように、どのような対策や事業がとられているのだろうか。

	学習能力の発達 (問題解決の発展) [→その特徴を活かした学習]	社会意識の発達 (社会的なものの見方や考え方の育成)	目標とする社会的な人間像	基礎的知識の発展			学習活動の発展		
				私たちと生活環境	私たちと歴史の発展	私たちと現代の社会	調べ方 (観察調査資料活用)	まとめ方 (表現)	かかわり方 (社会への働きかけ)
5年生	○生活の中で具体的に考える。 [→出発点を具体的な生活の中に求める。自らの問題意識による学習方法、解決の仕方を身に付ける]	○TV ゲームやコンピュータゲームなど個人の遊びに熱中し、現実社会から逃避し始める。 ○学校社会にとけ込めず、不登校の子どもが増え始める。 ○学級や学校、家庭の中で起こった問題に深い関心を持ち、それについて自分の考えをもって意見を述べようとしている。	国家的公民性 国際社会や地域社会のことに考えながら、日本国民として、日本を良くしようとする人間	○我が国の食料はどのようにして確保されているのだろうか。 ○国民の生活を支える工業製品はどのようにしてつくられているのだろうか。 ○国土の環境が人々の生活や産業とどのように関連をもっているのだろうか。 ○世界と日本の地域構成はどうなっているのだろうか。	○歴史を語るものを探るとどのようなことがわかるのだろうか。 ○先人たちの働きによって我が国はどのように発展してきたのだろうか。 ○古代～近世の我が国の歴史の流れはどうなっているのだろうか。	○国民の生活に大きな影響を及ぼす情報はどうのようにして発信・伝達されているのだろうか。 ○我が国の民主政治と日本国憲法との関はどのようなになっているのだろうか I II (これまでの中学公民の政治学習を取り入れ、7年生も指導する)	○追究する内容に応じ、自分なりの方法を選んで工夫して調べる。 (追究内容に応じること、自己の特性を考慮する) ○基礎的資料を使う ・インターネットの主体的な活用 ・地図の活用 (47都道府県の位置を地図上で示す) ○追究方法に関する話し合い	○追究する内容と、自分なりの発表に適切なまとめ方を選択する。 ○統計資料などを用いて、わかりやすく発表する。 ○友だちの発表を聴いて、自分の考えと比較検討する討論会を行う。 ○文書による報告 (報告書・レポート類) の機会を多くする。	○農業体験や伝統工業体験 ○インターネット利用による様々な発信 ○様々な聞き取り調査 ○様々なテーマによる話し合いや討論 ○区政への提言・投書の仕方
6年生	○自己中心的傾向を離れ始める。 [→より知的な指導を始める。文章資料、統計資料、映像資料、インターネットによる検索など、様々な資料を選択・活用して調べる学習を行う]	○現実社会の様子をマスコミから入手し、深く知ろうとする。 ○現実社会を反映した興味に流され、善悪の判断に苦しみ、公正に判断することができない。							
7年生	○学級や学校の共同生活を認める。 [→自己評価、相互評価を行い学習を深める] ○抽象的・論理的思考が次第に発達する。 [→知識・理解を中心とした指導が拡大できる] ○自我意識が目覚め始める。 自主性を重んじる。 [→自己の生き方とのかかわりで社会生活について考える]								

	学習能力の発達 (問題解決の発展) [→その特徴を活かした学習]	社会意識の発達 (社会的なものの見方や考え方の育成)	目標とする社会的な人間像	基礎的知識の発展			学習活動の発展		
				私たちと生活環境	私たちと歴史の発展	私たちと現代の社会	調べ方 (観察調査資料活用)	まとめ方 (表現)	かかわり方 (社会への働きかけ)
8年生	○抽象的・論理的思考が一段と発達し、批判的にものごとを考えるようになる。[→レポート・報告書等の論理的思考を重視する発表物の作成を重視する] ○自我意識が目覚め、感情的、反抗的傾向が現れてくる。[→自主性を重んじ、理想を養い大切にできるよう、より良い社会の在り方を考える]	○親への反発心や不平・不満が最も強くなる。 ○社会生活のありように疑問をもち始める。 ○自分と他者との違いを強く意識し始める。 ○社会の諸制度に対して疑問を感じ、自分の考えをもつようになるが、適切な手段を心得ていない。	グローバル公民性	○世界的視野から見た日本の地域的特色、日本全体の視野から見た諸地域の特色はどうか。	○近現代の我が国と世界の歴史の流れはどうなっているのだろうか。 ○これまでの歴史学習全体を自分なりにまとめるとどうなるのだろうか。	○私たちはどのような社会を生活しているのだろうか。 ○個人は社会とどのようにかわって生きていけばよいのだろうか。 ○私たちの経済生活はどのような仕組みの中で営まれているのだろうか。 ○今日の我が国の政治にはどのような課題があるのだろうか。 ○私たちは、世界の中の日本人としてどのような努力を行っていかばいいのだろうか。	○様々な手法による調査や追究(学び方の学習から脱却し、純粹に追究を深める教科のねらいに即した学習となる)	○様々な手法による表現・プレゼンテーション(パワーポイント・ディベート・報告書・レポート・研究論文) ○自分の意見を専門家や大人に聴いてもらう機会を多く設定する。	○様々な手法による社会へのかかわり方 ○外部者と交流する様々な形態の討論(ディベート、パネルディスカッション) ○様々な形態の提言
9年生	○将来に対する考え方が現実的になってくる。[→現代社会の問題点を探ったり、時事問題に関する学習を通して、自分と社会のかかわりを意識した学習を行う] ○道徳や規範に対し、自主的な判断をもつようになり、自分を客観的にとらえられるようになる。[→自らの生き方に関連した学習として実感できる学習を行う]	○合理的な社会生活の方法を追究し始める。 ○身近な地域や国家に対する社会意識から、さらに世界に視野を広げた社会意識をもつようになる。		私たちと生活環境	私たちと歴史の発展	私たちと現代の社会	教科内総合学習 ○卒業論文(課題テーマ) これまでの学習を踏まえて、望ましい国・社会と自分の在り方をどのように考えるか。 ○卒業論文(自由テーマ)		

※ [参考] 『学習指導要領Ⅰ(試案)』(文部省、昭和22年)、
『子どもの生きる社会科授業の創造』(有田一正著、明治図書、1982年)

3 指導計画

◎ 単元名の前の数字は、各学年における指導順序を表す。その学年の最初の単元は、前学年で最後の単元と同じ分野でつなげている。

●3年生(70時間)

私たちと生活環境	私たちと歴史の発展	私たちと現代の社会
1 私たちの住んでいる身近な地域にはどのような特色があるのだろうか。(24) ・学校のまわりはどのようになっているのだろうか。(12) 〈主な学習活動〉観察の仕方、白地図・絵地図づくり、インタビュー等 ※地域を歩いて問いを見つける・計画を立てて調べる・調べたことをもとに班で情報を整理する・班で役割を決めて発表する・地図の見方を習得する ・私たちの品川区はどのような特色をもっているのだろうか。(12) 〈主な学習活動〉パンフレットづくり、インターネット活用等 ※計画を立てて調べる・資料を使って調べる・色々な情報を比較して整理する・地図の見方を習得する 2 地域の生産や販売の仕事に携わる人々は、どのような願いをもち、工夫や努力をしているのだろうか。(28) ・自分たちが住んでいる地域ではどのようなものが、どのようにして作られ、国内の他地域とどうつながっているのだろうか。(12) 〈主な学習活動〉見学、インタビュー、新聞づくり等 ※計画を立てて調べる・インタビューをして分かったことをカードに書く・調べたことをもとに班で情報を整理する・場所や時間やようすなどを入れて正確に報告する ・自分たちが住んでいる地域のお店やスーパーではどのような工夫がなされ、国内の他地域とどうつながっているのだろうか。(16) 〈主な学習活動〉見学、インタビュー、広告づくり等 3 私たちのくらしの安全はどのようにして守られているのだろうか。(18) ・私たちが火災から守るために消防署ではどのような工夫や努力をしているのだろうか。(9) 〈主な学習活動〉統計資料読み取り、見学、インタビュー、壁新聞、ポスターづくり等 ・私たちが事故から守るために警察署ではどのような工夫や努力をしているのだろうか。(9) 〈主な学習活動〉統計資料読み取り、ゲストティーチャーにインタビュー、壁新聞、交通安全PR活動等 ※計画を立てて調べる・インタビューをして分かったことをカードに書く・調べたことをもとに班で情報を整理する・表やグラフや絵図を使って発表する	[※古代からの系統的な歴史学習は7年生から扱う。]	[※「私たちと生活環境」の3は、この分野のねらいにも配慮する。]

私たちと生活環境	私たちと歴史の発展	私たちと現代の社会
1 私たちが健康にらせるように、どのような対策がとられ、事業が行われているのだろうか。(28) ・飲料水(電気)はどのようにして私たちの家庭に届くのだろうか。(10) 〈主な学習活動〉文章資料・統計資料・映像資料読み取り、ゲストティーチャーにインタビュー、ポスターセッション等 ・私たちの生活の中で出るごみはどのように処理されるのだろうか。(18) 〈主な学習活動〉文章資料・統計資料・映像資料読み取り、ゲストティーチャーにインタビュー、ポスターセッション等 ※様々な資料、ゲストティーチャーの話、見学を通し問いを見つける・計画を立てて調べる・資料を集めたり手紙を出して質問をしたりして調べる・調べたことをもとに情報を比較整理する・質問や反論、結論や理由を明確にして話し合いをする 2 私たちの住んでいる東京の自然環境はどのようになっているのだろうか。(24) ・私たちの住んでいる東京はどのような姿をしているのだろうか。(5) 〈主な学習活動〉地図・映像資料・統計資料・文章資料の読み取り、白地図・絵地図づくり、話し合い活動等 ・山地で生活をしている人々はどのような暮らしをしているのだろうか。(7) 〈主な学習活動〉地図・映像資料・統計資料・文章資料の読み取り、インターネット活用、手紙の問い合わせ、イラストマップづくり、話し合い活動等 ・島で生活をしている人々はどのような暮らしをしているのだろうか。(7) 〈主な学習活動〉地図・映像資料・統計資料・文章資料の読み取り、インターネット活用、手紙での問い合わせ、イラストマップづくり、話し合い活動等 ・私たちの生活や東京の産業は国内の他地域や外国とどのようなかわりがあるのだろうか。(5) 〈主な学習活動〉映像資料・統計資料・文章資料の読み取り、インターネット活用、話し合い活動等 ※様々な資料から問いを見つける・計画を立てて、地図帳・資料集・インターネットを活用し資料を集め調べる・調べたことをもとに情報を比較整理する・質問や反論、結論や理由を明確にして話し合いをする	3 私たちの生活はどのように変わってきたのだろうか。(33) ・古くから伝わる道具を使っていた頃の生活は、どのようなようすだったのだろうか。(8) 〈主な学習活動〉品川歴史館見学、手紙・電話・インターネットの活用、お年寄りとのふれあい・聞き取り調査、絵年表づくり、話し合い活動等 ※様々な資料、ゲストティーチャーの話、見学を通し問いを見つける・計画を立てて調べる・資料を集めたり手紙を出して質問したりして調べる・調べたことをもとに情報を比較・整理する・質問や反論、結論や理由を明確にして話し合いをする・年表の見方を学習する ・玉川兄弟はどのようにして玉川上水を作ったのだろうか。(10) 〈主な学習活動〉年表・文章資料読み取り、インターネット活用、紙芝居づくり、話し合い活動等 ※年表など様々な資料から問いを見つける・整理の仕方を工夫する・表やグラフや絵図を使って発表する ・地域に伝わる文化財や年中行事にはどのようなものがあるのだろうか。(7) 〈主な学習活動〉現地調査、聞き取り調査、インタビュー、イラストマップづくり、話し合い活動、伝統行事への参加等 ※様々な資料、ゲストティーチャーの話、見学を通し問いを見つける・計画を立てて調べる・資料を集めたり、手紙を出して質問をしたりして調べる・調べたことをもとに情報を比較整理する・質問や反論、結論や理由を明確にして話し合いをする・伝統行事に参加し地域に愛着をもつ ・私たちの住んでいる東京や品川では、どのような伝統の技が受け継がれているのだろうか。(8) 〈主な学習活動〉見学、ゲストティーチャー・インターネットの活用、パンフレットづくり等 ※様々な資料、ゲストティーチャーの話、見学を通し問いを見つける・計画を立てて調べる・資料を集めたり手紙を出して質問したりして調べる・調べたことをもとに情報を比較・整理する・場所、時間、ようすなどを入れて正確に報告する	[※「私たちと生活環境」の1は、この分野のねらいにも配慮する。]

私たちと生活環境	私たちと歴史の発展	私たちと現代の社会
2 我が国の食料はどのようにして確保されているのだろうか。(25) ・農業生産に携わる人々はどのような工夫や努力をしているのだろうか。(13) 〈主な学習活動〉地図の活用、県名の把握、統計資料の活用、インターネットによる資料収集、学習新聞への表現 ・水産業に携わる人々はどのような工夫や努力をしているのだろうか。(12) 〈主な学習活動〉地図の活用、統計資料の活用、インターネットによる資料収集 3 国民の生活を支える工業製品はどのようにしてつくられているのだろうか。(20) ・自動車をつくる工業では、どのような工夫や努力をしているのだろうか。(13) 〈主な学習活動〉工場見学、統計資料の活用、工場パンフレットの作成 ・工業生産を支える貿易や運輸はどのように行われているのだろうか。(7) 〈主な学習活動〉地図の利用、統計資料の活用、インターネットによる資料収集、貿易マップへの表現 5 国土の環境が人々の生活や環境にどのような関連をもっているのだろうか。(24) ・気候に特色のある地域ではどのような生活をしているのだろうか。(10) 〈主な学習活動〉地図の活用、インターネットによる資料収集、気候と生活や産業との関連、気候とくらしマップへの表現 ・私たちの国土の環境はどのように保全されているのだろうか。(14) 〈主な学習活動〉地図の活用、統計資料の活用、新聞や雑誌の切り抜き、インターネットによる資料収集、討論会 ※(年間を通じて)地図の活用の仕方やスキルを身につける・索引の利用・大まかな日本地図が描ける・県名を覚える	1 歴史を語るものを調べるとどのようなことがわかるだろうか。(8) ・歴史を語るものにはどのようなものがあるのだろうか。(5) 〈主な学習活動〉地域の観察、年表の活用、文化遺産の見方、歴史学習の導入、歴史を語るものの紹介 ・歴史の大まかな流れはどのようになっているのだろうか。(3) 〈主な学習活動〉年表の活用、時代区分、歴史を語るものの年表への位置付け ※地域の歴史を語るものをさがす ※(年間を通じて)年表を活用するスキルを身に付ける・歴史を学ぶことを楽しむ	4 国民の生活に大きな影響を及ぼす情報はどのようにして発信 ・伝達するのはどこいうところだろうか。(13) ・情報が私たちの生活に大きな影響を及ぼしているのはどこいうところだろうか。(8) 〈主な学習活動〉情報とくらしとの関連の調査、アンケート ・情報を有効に活用するにはどのようにすればいいのだろうか。(5) 〈主な学習活動〉伝達する情報の作成(体験的学習)、インターネット利用による様々な発信

私たちと生活環境	私たちと歴史の発展	私たちと現代の社会
1 世界と日本の地域構成はどのようになっているのだろうか。(36) ・世界の地域構成はどのようになっているのだろうか。(18) 〈主な学習活動〉地球儀を使用しての位置関係の理解、インターネットの活用による資料収集、各国大使館のホームページ、外国の人へのインタビュー、地図の活用、おおまかな世界地図の作成 ・日本の地域構成はどのようになっているのだろうか。(18) 〈主な学習活動〉地球儀による位置関係、地図の活用、インターネットの活用による資料の作成、観光案内、大まかな日本地図の作成 ※(年間を通じて)地球儀の活用の仕方やスキルを身に付ける(方向、距離等)・地球儀を用いて我が国の位置を説明する・数理的位置(緯度、経度)、関係的位置(アメリカから日本までの最短距離や方向等)・アメリカの友だちに紹介するなどの活動・大まかな世界地図を作成する	2 先人たちの働きによって、我が国はどのように発展してきたのだろうか。(44) ・だれが何のためにこのような古墳をつくったのだろうか。 ・聖徳太子はどのような世の中をつくろうとしたのだろうか。 ・源頼朝はどのような世の中をつくろうとしたのだろうか。 ・信長、秀吉、家康はどのようにして天下を統一していったのだろうか。 ・文化や学問がさかんになり、人々のくらしはどのように変わってきたのだろうか。 ・幕末から明治の初めにかけて、世の中はどのように変わっていったのだろうか。 ・伊藤博文や小村寿太郎らの活躍は、日本をどのように変えていったのだろうか。 ・戦争があったころや戦後、人々はどのようなくらしをしていたのだろうか。 〈主な学習活動〉歴史新聞や歴史事典づくりを通して、歴史上の大きな出来事や人物、文化遺産を調べる。(年表、図書室や図書館の資料、歴史博物館や資料館、歴史人物事典、歴史まんが、高齢者、伝記等の活用) ※歴史新聞づくり=タイムマシンでその時代に舞い降りた新聞記者の目で新聞を作る ※(年間を通じて)年表を活用するスキルを身に付ける・歴史を学ぶことを楽しむ	3 我が国の民主政治と日本国憲法との関係はどのようになっているのだろうか I (20) ・私たちの生活を守るために、政治はどのような働きをしているのだろうか。(10) 〈主な学習活動〉品川区・東京都のホームページをみる ・人間の尊重と日本国憲法の基本原則はどのようになっているのだろうか。(10) 〈主な学習活動〉日本国憲法、政府のホームページ、外国の人への日本国憲法の紹介 ※身の回りにある障害者のための施設を調べる・品川区が実際に取り組んでいることを調べる・区議会を見学する・ボランティア活動に参加して体験から学ぶ

私たちと生活環境	私たちと歴史の発展	私たちと現代の社会
3 地域の規模に応じた地域的特色をとらえる視点や方法はどのようになっているのだろうか。(50) ・身近な地域はどのようになっているのだろうか。(10) 〈主な学習活動〉地図、地形図、地域の観察、品川区や他の学校のホームページ、身近な地域の地図づくり ・都道府県はどのようになっているのだろうか。(20) 〈主な学習活動〉地図、各都道府県のホームページ、東京都のホームページづくり ・世界の国々はどのようになっているのだろうか。(20) 〈主な学習活動〉世界地図や地球儀の活用、各国大使館の資料、観光協会のパンフレット、各国について調べたことの発表会 ※(年間を通じて)地図やその他の資料を有効に活用して都道府県のホームページづくりを行う	2 古代～近世の我が国の歴史の流れはどうなっているのだろうか。(45) ・古代までの日本の歴史はどのようになっているのだろうか。(14) 〈主な学習活動〉年表、図書館や歴史博物館の資料、古代のできごとについてのレポート作成 ・中世の日本の歴史はどのようになっているのだろうか。(11) 〈主な学習活動〉年表、図書館や歴史博物館の資料、中世のできごとについてのレポート作成 ・近世の日本の歴史はどのようになっているのだろうか。(20) 〈主な学習活動〉年表、図書館や歴史博物館の資料、近世のできごとについてのレポート作成	1 我が国の民主政治と日本国憲法との関係はどのようになっているのだろうかⅡ(25) ・我が国の政治の仕組みはどのようになっているのだろうか。(25) 〈主な学習活動〉図書館の資料、各政党、国会、内閣、裁判所のホームページ、国会見学、有権者の立場での意見発表 ※「私の国会案内」で表現する

私たちと生活環境	私たちと歴史の発展	私たちと現代の社会
1 世界的視野から見た日本の地域的特色、日本全体の視野から見た諸地域の特徴はどのようにになっているのだろうか。(45) ・自然環境から見た日本の地域的特色はどのようにになっているのだろうか。(7) 〈主な学習活動〉気候帯の確認 ※雨温図を作成し、読み方を学ぶ ・人口から見た日本の地域的特色はどのようにになっているのだろうか。(6) 〈主な学習活動〉統計資料の読み取り ※人口ピラミッド作成し読み方を学ぶ ・資源や産業から見た日本の地域的特色はどのようにになっているのだろうか。(11) 〈主な学習活動〉専門家との意見交換 ・生活・文化から見た日本の地域的特色はどのようにになっているのか。(8) 〈主な学習活動〉外国人を招いてのディスカッション ・地域間の結び付きから見た日本の地域的特色はどのようにになっているのだろうか。(8) 〈主な学習活動〉瀬戸大橋・関越自動車道等の過去と現在の比較 ※事例地域を通して、過去と現在を比較し、課題を考察する ・世界的視野からと日本全体の視野から見た日本の特色はどのようにになっているのだろうか。(5) 〈主な学習活動〉レポート作成	2 近現代の我が国と世界の歴史の流れはどうなっているのだろうか。(44) ・開国の背景と影響にはどのようなものがあったのだろうか。(8) 〈主な学習活動〉文献資料の読み込み、インターネット活用 ・近代日本はどのようにして歩んできたのだろうか。(10) 〈主な学習活動〉追究した内容を紙芝居や劇にして表現する ・近代産業はどのようにして発展したのだろうか。(5) 〈主な学習活動〉品川硝子製造所の事例から具体的な変化をとらえる ・日本は二つの大戦とどのように関わっていたのだろうか。(10) 〈主な学習活動〉戦争体験者から話を聴く ・外国から見ると日本の戦争はどのように映るのだろうか。(5) 〈主な学習活動〉パネル・ディスカッション ※外国人を招いてパネル・ディスカッションを行う ・現代の日本と世界の関係はどのようにして始まったのか。(6) 〈主な学習活動〉映像資料を通して実感的にとらえる 3 これまでの歴史学習全体を自分なりにまとめるとどうなるのだろうか。(9) ・歴史学習の最後に、これまでの学習全体を自分なりにまとめるとどうなるだろうか。 〈主な学習活動〉プレゼンテーションなどの自由な表現活動 ※これまでの歴史学習を踏まえて、これからの現代社会を展望していくために、自由な表現活動を行う	4 私たちはどのような社会を生活しているのだろうか。(14) ・私たちの生活と現代日本の歩みはどのように関係しているのだろうか。(14) 〈主な学習活動〉インターネット活用、聞き取り調査 5 個人は社会とどのようにかかわって生きていけばよいのだろうか。(8) ・学校・家庭・地域社会とのかかわりはどのようにになっているのだろうか。(8) 〈主な学習活動〉実際場面におけるルールづくり ※高齢者・障害者などとの交流を通して約束事を決める

私たちと生活環境	私たちと歴史の発展	私たちと現代の社会
		1 私たちの経済生活は、どのような仕組みの中で営まれているのだろうか。(26) ・市場経済の考え方はどのようなものか。(10) 〈主な学習活動〉市場経済にかかわるシミュレーション ※実際の収支項目で模擬的に家計のシミュレーションを行う。 ・企業を企画するとどうなるか。(6) 〈主な学習活動〉専門家との意見交換 ・国民生活と福祉はどうなっているのだろうか。(10) 〈主な学習活動〉専門家から話を聞く 2 今日の我が国の政治にはどのような課題があるのだろうか。(23) ・地方自治など身近な課題を解決するためには、どのような工夫が必要か。(11) 〈主な学習活動〉専門家との意見交換を通じた地域へ提言 ※しくみの理解よりも時事問題などを重視する。 ・現代の国内政治ではどのような課題があるのだろうか。(12) 〈主な学習活動〉新聞の読み込み ※しくみの理解よりも時事問題などを重視する。 3 私たちは、世界の中の日本人としてどのような努力を行っていけばいいのだろうか。(11) ・国連の働き、資源・エネルギー、地球環境問題、地域紛争はどのようになっているのか。(11) 〈主な学習活動〉インターネットの活用、レポート作成 ※(年間を通じて) 専門家からお話を聴いたり、専門家と意見交換を行ったりして、社会の生の情報に触れる
私たちと生活環境	私たちと歴史の発展	私たちと現代の社会
4 卒業論文 〈課題テーマ〉「これまでの学習を踏まえて、望ましい国・社会と自分の在り方をどのように考えるか」(15) ・これからの時代において、日本はどのような国・社会であるべきか、またその中で、自分はどうかあるべきか。 〈主な学習活動〉プレゼンテーション、ディベート ※「自分づくり」「社会づくり」の観点		5 卒業論文〈自由テーマ〉(25) 〈主な学習活動〉レポート、報告書、プレゼンテーションなど自由な表現活動 ※発展的な学習として、教科書以上の高度な学習を行うこともあり得る。